

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2023年6月7日 更新

質問者記入欄					回答	回答日
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容		
2023年6月7日	23a00234000000	中央アジア（広域）地域人材育成奨学計画準備調査（一般競争入札（総合評価落札方式 -ランブサム型））	資金協力業務部実施監理第二課	1. 今回の調査対象国それぞれについて、想定される修士、及び博士の受入上限人数について教えてください。 2. 今回の調査対象国それぞれについて、想定されるJDS開発重点分野とコンポーネントを教えてください。 3. 本協力準備調査の概要（貴機構が求める調査項目と想定されるプロセス）を教えてください。 4. 本体事業における代理実施機関の機関のうち、主要業務（特に事業の付加価値化）について教えてください。 5. 現行フェーズの4バッチについて、各コンポーネント毎の応募者数と応募者の男女比を教えてください。	【ウズベキスタン】 1. 19名（修士18博士1） 2.（重点分野）「自由で開かれた国際秩序の構築」「持続的な経済成長のための政策立案」（コンポーネント）「国際公共政策」「法の支配／法秩序構築」「産業開発」「公共経営」 【タジキスタン】 1. 16名（修士15博士1） 2.（重点分野）「自由で開かれた国際秩序の維持・強化」「持続可能な経済発展のための制度づくり」「持続可能な開発のための公共政策の強化」（コンポーネント）「国際関係」「経済開発」「公共政策」 【2か国共通】 3.（調査概要） ・留学対象分野・課題案に対するニーズ調査 ・キャリアパスに係る調査 ・他ドナーによる奨学金事業に係る調査 ・現地での事業実施体制に係る検討 ・上記調査結果を踏まえ、戦略的な協力枠組みの検討 ・日本国内での留學生の受入れおよび支援業務に係る検討 ・概略事業費積算 （調査プロセス）国内調査として政府関連機関の構成や公務員人事制度等既存の情報は過去の報告書を参考に抽出し、現地調査においてこれらのアップデートを行う等調査の効率化を図る。 また現地調査においては大学選定に係る協議や当該国の特徴・動向及びJICAが実施している他の長期研修員事業を踏まえたより戦略的な受入計画の策定を中心に実施することとする。 4. 本体の主要業務としては、公表している運営ガイドライン2（8）の通り。 （ <a href="https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf</a> ） 付加価値提供の点は、大学での一般的な教育・研究活動に加えて実施される本事業の価値を高めるための特色ある活動。 例えば2022年度にはリーダーシップ研修（中間研修）、行政官交流会、インターンシップ等を実施。 対象国や対象者にとって有益と考えられる付加的な活動の提案が期待される。 5. 現行フェーズについて、各コンポーネントの応募者数と応募者の男女比は公開しておりません。 過去の実績については準備調査報告書等をご参照ください。 過去のJDS協力準備調査報告書及び基礎研究「人材育成奨学計画（JDS）事業の効果検証（2020年2月）」調査報告書 <a href="https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html">https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html</a> ※JICA 図書館ポータルサイト：JICA 報告書・図書・雑誌メニューから「JDS」で検索。	2023年6月7日
2023年6月14日	23a00236000000	モルディブ国、ケニア国人材育成奨学計画準備調査（一般競争入札（総合評価落札方式 -ランブサム型））	資金協力業務部実施監理第二課	第1フェーズの4バッチについて、各コンポーネント毎の応募者数と応募者の男女比を教えてください。	現行フェーズについて、各コンポーネントの応募者数と応募者の男女比は公開しておりません。 過去の実績については準備調査報告書等をご参照ください。 過去のJDS 協力準備調査報告書及び基礎研究「人材育成奨学計画（JDS）事業の効果検証（2020年2月）」調査報告書 <a href="https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html">https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html</a> ※JICA 図書館ポータルサイト：JICA 報告書・図書・雑誌メニューから「JDS」で検索。	2023年6月7日
2023年7月5日	23a00237000000	アジア（広域）地域人材育成奨学計画準備調査（一般競争入札（総合評価落札方式 -ランブサム型））	資金協力業務部実施監理第二課	1. 今回の調査対象国それぞれについて、想定される修士、及び博士の受入上限人数について教えてください。 2. 今回の調査対象国それぞれについて、想定されるJDS開発重点分野とコンポーネントを教えてください。 3. 本協力準備調査の概要（貴機構が求める調査項目と想定されるプロセス）を教えてください。 4. 本体事業における代理実施機関の機関のうち、主要業務（特に事業の付加価値化）について教えてください。 5. 現行フェーズの4バッチについて、各コンポーネント毎の応募者数と応募者の男女比を教えてください。	【ラオス】 1. 22名（修士20博士2） 2.（重点分野）「ガバナンス強化」「環境に配慮した均整のとれた開発」「産業人材育成」（コンポーネント）「行政強化」「国際関係」「財政・経済・産業振興」「環境・気候変動・インフラ」「産業人材育成」 【モンゴル】 1. 16名（修士15博士1） 2.（重点分野）「健全なマクロ経済の実現に向けたガバナンス強化」「地球規模課題を踏まえた経済成長の実現」（コンポーネント）「公共財政管理」「金融政策と資本市場政策」「公共政策」「ビジネス/経済法整備」「国内産業の強化と輸出産品の多様化」「環境に配慮した開発・エネルギー政策」 【2か国共通】 3.（調査概要） ・留学対象分野・課題案に対するニーズ調査 ・キャリアパスに係る調査 ・他ドナーによる奨学金事業に係る調査 ・現地での事業実施体制に係る検討 ・上記調査結果を踏まえ、戦略的な協力枠組みの検討 ・日本国内での留學生の受入れおよび支援業務に係る検討 ・概略事業費積算 （調査プロセス）国内調査として政府関連機関の構成や公務員人事制度等既存の情報は過去の報告書を参考に抽出し、現地調査においてこれらのアップデートを行う等調査の効率化を図る。 また現地調査においては大学選定に係る協議や当該国の特徴・動向及びJICAが実施している他の長期研修員事業を踏まえたより戦略的な受入計画の策定を中心に実施することとする。 4. 本体の主要業務としては、公表している運営ガイドライン2（8）の通り。 （ <a href="https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/schemes/grant_aid/summary/ku57pq00001kpz8b-att/JDS_guidelines_en.pdf</a> ） 付加価値提供の点は、大学での一般的な教育・研究活動に加えて実施される本事業の価値を高めるための特色ある活動。 例えば2022年度にはリーダーシップ研修（中間研修）、行政官交流会、インターンシップ等を実施。 対象国や対象者にとって有益と考えられる付加的な活動の提案が期待される。 5. 現行フェーズについて、各コンポーネントの応募者数と応募者の男女比は公開しておりません。 過去の実績については準備調査報告書等をご参照ください。 過去のJDS 協力準備調査報告書及び基礎研究「人材育成奨学計画（JDS）事業の効果検証（2020年2月）」調査報告書 <a href="https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html">https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/Index.html</a> ※JICA 図書館ポータルサイト：JICA 報告書・図書・雑誌メニューから「JDS」で検索。	2023年6月7日
2023年6月21日	23a00250000000	ベトナム国水上保安能力強化計画準備調査	社会基盤部運輸交通グループ	【背景】の中では、「水上警察に対する警備艇の建造」のみが言及され、その係留施設については何も触れられていません。 一方、【業務担当分野一覧】の項目には「係留施設計画」とありますが、ここで想定されている係留施設に関する業務の範囲（内容）について、ご教示をお願いします。	公示段階での修正を検討していましたが、こちらは「自然条件調査/係留施設計画」という分野名とする想定です。本無償で整備予定の警備艇の行動範囲として想定するハイフォン～ニャチャン沿岸部及び離島のバクロンビ島について、現時点では寄港のための係留施設を新設する必要は無いと認識しております。他方、自然条件、深淺測量と併せて現状確認、使用可否確認は必要と考えております。要すれば既存施設の使用法検討が必要となる可能性はあります。	2023年6月7日

質問者記入欄						
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2023年6月21日	23a00235000000	全世界（広域）農業・農村開発協力における気候変動対策の推進に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式一ランブサム型））	経済開発部農業・農村開発第二グループ	気候変動対策関連4文書について、公開されている場合はリンクを共有いただけますか。未公開の場合は、現時点で文書を共有いただくことは可能でしょうか。	気候変動対策関連4文書は公開しておりません。また、現時点での文書の共有はご容赦ください。なお、当該4文書につきましては、公示段階での配付を予定しております。	2023年6月7日
2023年6月21日	23a00235000000	全世界（広域）農業・農村開発協力における気候変動対策の推進に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式一ランブサム型））	経済開発部農業・農村開発第二グループ	気候変動対策検討会と参加型灌漑管理研究会の規模等（有識者の人数、開催回数、アウトプットイメージ）はどの程度でしょうか。	以下の通りと想定しております。 有識者の人数:各5名程度 開催回数:業務期間中に4回程度 アウトプットイメージ: ・検討会では、「農業・農村開発協力における気候変動対策に関する取組指針(案)(2023年3月JICA経済開発部にてとりまとめ)」及び「農業・農村開発協力におかれう気候変動対策のためのハンドブック(案)(2023年3月JICA経済開発部にてとりまとめ)」の改訂案のとりまとめ ・研究会では「農民参加型灌漑管理プロジェクトの推進方策の考え方(案)(2023年3月JICA経済開発部にてとりまとめ)」の改訂案のとりまとめ ※ただし、検討会・研究会での有識者の意見等に伴い、アウトプットイメージは変更する可能性があります。	2023年6月7日
2023年6月21日	23a00235000000	全世界（広域）農業・農村開発協力における気候変動対策の推進に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式一ランブサム型））	経済開発部農業・農村開発第二グループ	現地調査は、アフリカ、アジア地域、タイ、インドで、国際会議出席を想定とのことですが、具体的にターゲットとする国際会議はありますか。	2023年11月開催予定の国際かんがい排水委員会第25回総会(インド)、2024年5月開催予定の第10回世界水フォーラム(インドネシア)、2024年10月開催予定の国際水田・水環境ネットワーク運営会議(タイ)を想定しております。	2023年6月7日
2023年7月19日	23a00189000000	カンボジア国水質汚濁防止能力向上プロジェクト	地球環境部環境管理グループ	本案件は、若手育成加算対象とされる想定でしょうか？	はい、その想定でおります。	2023年6月7日